

平成 2 2 年 第 1 回定例会

( 3 月 1 8 日 )

一 般 質 問 資 料

( 2 回 目 )

自由民主党千葉市議会議員団  
向 後 保 雄

ご答弁ありがとうございます。2回目は要望と意見を述べさせていただきます。

## 1 千葉駅西口再開発事業の進捗状況について

まず、千葉駅西口再開発事業についてですが、この事業は平成2年に開始され既に20年が経過しようとしております。長引く経済不況のあおりを受けて工事が進まず、また、千葉港黒砂台線についても用地買収が思うように進まず、最終的に収用によって解決され、やっと前進することとなり、当局の皆さんも大変なご苦勞をされていることと思っておりますが、早期の完成に向けて更なるご尽力をお願いいたします。A棟の特定建築者もまもなく決まる予定でありやっと動き出すということですが、千葉港黒砂台線が23年度に完成し、A1からA3の各棟の建設も翌24年度末までには完了するということです、完成までの期間歩行者の安全性を確保しながら利便性の確保もあわせてして行かなければなりません。これは、近隣住民の皆さんの強い要望ですので実現に向けて特定建築者との協議を是非ともお願いいたします。

つぎに、信号機の設置の件ですが、住民要望では建設工事期間中の安全性の確保についても是非とも信号機の設置をお願いしたいとの強い要望がありましたが、道路期間中の道路形態がすぐに変わってしまうので難しいとのことで実現できませんでした。千葉港黒砂台線完成後は西口駅前広場に入る

交差点に信号機を設置計画とご答弁をいただきましたので安心しましたが、完成後は格段と交通量が激しくなると予想されますので是非とも近隣住民の方々の安全確保をよろしくお願いいたします。

最後に西口駅前駐輪場と自動二輪車の駐車場の件ですが、ご答弁によりますと、一部の平置き駐輪場を合わせて800台の機械式立体駐輪場が計画されているとのことで、感謝いたします。自動二輪車については、今後関係部局と検討していくとのご答弁でした。本年3月4日付で、警察庁交通局より、「自動二輪車にかかる駐車対策等についての推進について」という文書が、警視庁及び各道府県警察本部長宛てに配布されたようです。そこには、市町村に対して、自動二輪車等の駐車場の設置義務を規定した条例制定を働き掛けることが明示されております。また、必要に応じて駐車禁止規制を解除し、又は自動二輪車等を駐車禁止規制の対象から除外したうえで、駐車方法を指定するなどの措置を講ずる事がうたわれております。それだけ、自動二輪車の駐車場が整備されていないということなんです。本市には自動二輪車を管轄する部署がきちっと設けられていないようでした、そんな事情から自動二輪車の駐車場が整備されていないとこのことのようにです。新たに駅前に駐輪場を建設するという絶好のチャンですから是非とも前向きにご検討を頂き、

必ず整備をしていただき、かねてからの住民要望を  
かなえていただきたいと強く要望いたします。

## 2 新宿小学区再編と雇用・能力開発機構ちばの千葉キャンパスの活用について

次に、新宿小学校の学区再編についてですが、まず、この件について、どのような問題があるのか整理しなければなりません。一つには、神明町・出洲港地区の皆さんは、新宿小学校の学区の一員として50年以上もの間親子三代以上にわたって近隣地域と密接に関わり、地域社会形成のために活動して来ましたが、新宿小学校地区社会体育振興会の皆さんにおいてはさまざまな行事を通して地域社会とのつながりを強固なものとして、深く溶け込んでおります。この地域とのつながりが、学区変更によって分断されてしまうのです。二つには、現在未就学児をお持ちの保護者の中には、マンション購入時に小学校は新宿小学校に通うこととなりますとの説明を受け、新宿小学校の見学もしてマンションの購入を決断した方もおります。この方たちは約束が違うぞと怒りをあらわにしてしております。三つには、寒川第二小学校を建設すれば、用地の買い戻し額とあわせて、33億8千万円が必要となります。国庫補助が8億円あったとしてそれを差し引いても27億円近い税金を投入しなければなりません。いずれ、10数年後には確実に寒川第二小学校区の児童数も減少すると予測されます。今の美浜区と同様に、いずれ用途

変更の必要性が出てきて、耐用年数50年のものを10数年で用途替えしなければならなくなり、その時にはまた、改築のため数千万円の税金を投入することとなります。であるならば、既存の施設を活用することができないのか、との発想から空き施設となっているポートサイドタワーやポートタウンの利用について一つの方法として提案されたわけです。その可能性については、小学校配置基準第12条において、教育上及び安全上支障がない場合には、他の学校等の施設及び設備を使用することができる、規定されておりますので、「理科室」や「家庭科室」、「音楽室」の設置などの問題の解決については、知恵を絞っていただき、引き続き検討していただくことを要望いたします。

また、同様の意味から、ポリテクカレッジの空き教室の活用についても国の動向を見ながら情報収集に努めてゆくとの回答をいただきました。事業仕訳対象となっているポリテクカレッジの売却は、もともと、都道府県が対象のようですので、千葉県に取得してもらい、一部を借り受けることも選択肢としてあります。また、政令市である本市としては、譲り受けられる可能性はゼロではないと考えます。千葉県にはポリテクカレッジが成田にもありますが、どちらか一方に統合するとの計画もあるようですので、国の動向次第であることに間違いはありません。

市長と仲の良い千葉県一区の衆議院議員田嶋要代議員が事業仕訳委員の一人ですので、是非田嶋代議員に情報をもらっていただきたいと思います。雇用機会の創出をするためにポリテクカレッジを活用することは、意義あることと考えます。国からの情報が少なく、まだ方向性もはっきりしませんので、是非とも田嶋代議員に相談していただき、検討していただきたいと思います。ポリテクカレッジは工夫と活用の仕方によっては雇用問題解決に大きな力となると思います。そして、新宿小学校分校として活用できたら一挙両得ではないでしょうか。

ここで、寒川第二小学校建設については、すでに大規模校である宮崎小学校の適正規模対策も含んでいます。この点も大きな問題ではありますが、宮崎小学校の場合、昭和53年に811人となり、その後減少し、平成4年には402人となり、その後また増加して現在は935人となっております。しかし、平成26年のピーク時、生徒数984人の時においても2教室の余裕があります。しかし、運動場が狭いため、体育や運動会等の時には非常に不便を感じる状況であると以前、保護者から聞いております。現在すでに、こも池公園を活用して足りない運動場の代わりに使用しているとのことですが、安全性確保の面から、こも池公園と小学校の間の道路をこも池公園側に移動して公園の一部を校舎の一部として

活用し校庭を拡張することも考えられるのではないのでしょうか。宮崎小学校については、地元の住民からは、以前のようにいずれまた減少するのだからしばらく我慢するしかないとの意見も聞いております。

新宿小学校についても、隣接する新宿公園プロムナードの一部をつぶして小学校用地として復活させ、現在の子供ルームのところに校舎を増築してはどうかとの意見も出ております。いろいろな選択肢を住民と協議していただき、住民に理解の得られる方法を模索していただくことを強く要望します。

### 3 観光振興について

次に本市の観光振興についてですが、今までも毎年縮減されてきている各イベントに対する予算ですが、22年度は花火大会以外はゼロです。千葉市菊花展同俳句会、大道芸フェスティバル、千葉城さくら祭り、千葉氏フォーラムの四つでわずか275万円の予算が全額削られてしまっているのはあまりにも極端すぎませんか、熊谷市長！人が集まることによって経済効果も期待でき、また千葉市に夢と誇りと郷土愛を育むことを期待しているのに、大ナタでバツサリ切られてしまっただけではマイナス効果しかありませんよ。市長の観光振興に対する考え方が理解できません。ご答弁によりますと千葉県の補助金を活用した千葉市ふるさと雇用再生特別基金事業による「観光振興推進員配置事業」により、観光ボランティアの育成や既存の観光施設等を活用した観光コースづくりをするなど、観光資源の開発に努力されているということですので、さらに強力に観光資源開発を推進していただきたいと思います。

一方、千葉港から東京湾に面するお台場、横浜港、三浦半島さらには、海ほたる等をめぐる観光コースや、私も昨年12月に参加しましたが、千葉<sup>こう</sup>港の海上からJFEの工場の夜景を見て、そのあとはお勧めのレストランで夕食をとるというモニターツアーが

ありました。残念ながら途中で波が高くなってしまったため灯かりがともる前に引き上げてきてしまいました。夏場であれば涼しくてとてもいい観光コースになるのではないかと感じました。モニター参加希望者も大勢申し込みがあり抽選になったそうですが、是非この企画は軌道に乗せていただきたいと思います。ウォーターフロントとしての千葉<sup>こう</sup>港の観光開発を強く推進していただくことをお願いいたします。

そして、千葉駅西口再開発事業完成後には、千葉<sup>こう</sup>港への玄関口として、重要な役割を担うこと間違いなしですので、新たな観光資源としての旅客船棧橋建設事業との連携、さらには、本市の職員が一丸となって、関係機関等と協力して、残念ながら観光コンベンションかはなくなってしまうますが、新体制のもと、本市の観光が後退することのないように鋭意取り組んでいただき、千葉市の観光都市としての都市イメージ作りに向けて努力を惜しまないことを強く要望いたします。

## 4 商店街の活性化について

次に、商店街の活性化に向けた取組みについては、様々な方策を取入れて工夫をされていることに感謝いたします。今回新たに政令市初の空き店舗活用支援資金の融資制度が創設されるということですので、大いに期待するところですがせっかく融資をしてもらっても商店街自体の賑わいがないければ、店舗を経営してゆくことが難しいと思いますので、今回さらに、あわせて実施されるプロの経営コンサルタント等による無料のアドバイスを活用してもらいながら、この新たな試みの融資制度が、有効に活用されることを願っております。

次に、環境整備事業の取組み状況については、栄町通り商店街については、アーケードの撤去が最も大きな事業であります。本市の予算計上額は3,000万と伺っており、本市と地元負担がそれぞれ全体の6分の1ありますが、権利関係が複雑な場所も多く地元の商店街の方々も苦勞されております。また、土木部の所管ですが、電線共同溝工事が22年度は財政難ということで先送りされてしまっています。掘り返したりすることも一回で済みますし、本来であれば一体的に実施することが筋ではないのかと思います。是非この点もしっかりと無駄の無いように考えていただくことを強く要望致します。千

葉銀座商店街については、歩道・街路灯の改修や案内板の設置が予定されているということで、2,780万円の予算が計上されていると伺っております。賑わいのある街並み作りを目指して当局のご支援を切に要望致します。

最後に栄町再生計画についてですが、平成19年から開始した「栄町街づくり社会実験」における「楽市バザール」が過去6回に渡って開催されたわけですが、平成21年からは千葉市の資金的な援助はなくなり、昨年10月18日に行った「楽市バザール」は、地元の皆さんが独自に開催し、約1万人の来場者があり、このイベントも定着をしてきたことがわかります。これをバネとして、栄町商店街の皆さんが自分たちの街をどのように再生していったらいいのか、その方向性を定めるため「栄町まちづくり再生本部」を立ち上げ、再生計画を作成し、「皆に愛される平成の門前町」を目指して動き出しております。やっと、地元商店街の皆さんの心が一つになって同じ目標に向かって進むこととなったわけです。本市としては、財政難でもあり、資金的な援助は難しいとしても、様々な会議、協議会等に行政から人員を参加していただき、再生計画の実現に向けて知恵を貸していただくことを切に要望いたします。

以上で、私の一般質問を終わります、長時間にわたりご清聴ありがとうございました。